

第 四 紀 研 究 第 26 卷

目 次

第 1 号 (5 月)

原著論文

佐瀬 隆・細野 衛・宇津川 徹・加藤定男・駒村正治：武蔵野台地成増における関東 ローム層の植物珪酸体分析……………	1
小泉 格：完新世における対馬暖流の脈動……………	13
檜垣大助：北上山地中部の斜面物質移動期と斜面形成……………	27
茅根 創・山室真澄・松本英二：房総半島南東岸における旧汀線の指標としてのヤッコカンザシ……………	47
上杉 陽・堀内 真・宮地直道・古屋隆夫：新富士火山最新期のテフラ——その細分と年代——……………	59
短 報	
竹村恵二・壇原 徹：遺跡土壌中の火山灰降灰層準の認定——兵庫県篠山板井遺跡を例として——……………	69
松本英二・前田保夫・竹村恵二・西田史朗：給良 Tn 火山灰 (AT) の ¹⁴ C 年代……………	79
石井武政・磯部一洋・相原輝雄：試錐試料からみた茨城県筑波台地における緩斜面の形成について……………	85
書 評……………	93
学会記事……………	94

第 2 号 (7 月)

口 絵

原著論文

吉岡敏和：京都盆地周縁部における第四紀の断層活動および盆地形成過程……………	97
安藤一男・和田 信・高野 司：珪藻群集からみた埼玉県荒川低地の古環境の検討……………	111
町田 洋・新井勇夫・宮内崇裕・奥村晃司：北日本を広くおおう洞爺火山灰……………	129
短 報	
叶内敦子：鬼怒沼湿原堆積物の花粉分析……………	147
河名俊男：中田 高・大村明雄：石垣島大浜の“津波大石”のサンゴ化石年代……………	155
京紺博子・今井敏夫・紺野義夫：富山湾西岸の七尾市大野木における完新世海成段丘と その ¹⁴ C 年代……………	159
特別講演	
鈴木敬治：会津盆地周辺の鮮新一更新統と古植生の時代的変遷 (講演要旨)……………	163
書 評……………	169
学会記事……………	172

第 3 号 (1 月)

特 集 号

貝塚爽平：「30 周年記念特集号」の序……………	175
30 周年記念講演・日本第四紀学会の軌跡と展望	
杉村 新：INQUA 日本支部の頃……………	177
菊池隆男：「第四紀研究」誌掲載論文からみた第四紀学会の研究動向……………	181
井関弘太郎：日本における沖積平野研究のあゆみ……………	187

シンポジウム「日本第四紀研究の諸問題——第四紀地図の作成過程から」

貝塚爽平：第四紀地図とその諸問題	201
市原 実・楡井 久：日本の第四紀層の層序区分——海成層と非海成層	207
太田陽子・米倉伸之：日本における段丘・低地研究の現状と問題点 ——日本第四紀地図の作成を通して——	211
岩淵義郎・加藤 茂：第四紀地図の作成過程からみた大陸棚	217
町田 洋・新井房夫：日本列島周辺の深海底に分布するテフラ	227
大場忠道：海水準変化に関するコメント	243
松田時彦・衣笠善博：第四紀テクトニクスの特徴と問題点	251
小崎 尚：第四紀後半の日本の山地の地形形成環境	255
加藤芳朗：土壌研究の問題点	265
小野有五：最終氷期における東アジアの雪線高度と古気候	271
相馬寛吉・辻 誠一郎：植物化石からみた第四紀	281
亀井節夫・樽野博幸・河村善也：日本列島の第四紀地史への哺乳動物相のもつ意義	293
小野 昭：遺跡分布からみた旧石器時代の社会 ——ナイフ型石器群を例とした分布の現象と実態——	305
座談会：日本第四紀地図をどう読むか	317
コメント：これからの第四紀研究	341
学会記事	368

第4号(3月)

原著論文

宮田雄一郎：密度逆転成層による周氷河インボリューションの形成	373
MATSUSHITA, M. and SANUKIDA, S: Holocene Vegetation History around Lake Hamana on the Pacific Coast of Central Japan	393
短 報	
遠藤秀典・相原輝雄・宇野沢 昭・松本英二・富樫茂子：東京低地の本所埋没段丘及び その埋積堆積物の形成年代	401
資 料	
松井順太郎：滋賀県北部・今津町平池から得た泥炭の ¹⁴ C 年代	407
書 評	409
学会記事	413
追 悼——中村一明会員を悼む——(鎮西清高)	425